

2020年度 第2四半期決算

2020年10月29日

富士電機株式会社

新型コロナウイルス感染症の影響及び 前年度大口案件影響に伴う需要減により減収減益

(単位:億円)

	2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計	増減
売上高	4,067	3,570	-497
営業損益	111	53	-58
経常損益	109	52	-57
特別損益	-7	0	8
税金等調整前 四半期純損益	101	52	-49
法人税等	32	22	-10
非支配株主に帰属する 四半期純損益	10	10	0
親会社株主に帰属する 四半期純損益	60	21	-39

(平均為替レート)

(単位:円)

US\$	108.63	106.92	-1.71
EURO	121.42	121.30	-0.12
RMB	15.68	15.26	-0.42

(期末レート差:3月末→9月末)

(単位:円)

US\$	110.99→107.92	108.83→105.80	0.04
EURO	124.56→118.02	119.55→124.17	11.16
RMB	16.47→15.13	15.31→15.54	1.57

売上高増減

海外子会社の為替換算差による増収	+5
需要減	-502

営業損益増減

物量・生産減	-114
固定費減	+38
為替影響	-3
その他*	+20
	-58

*コストダウン、価格変動、機種構成差等

営業外損益増減

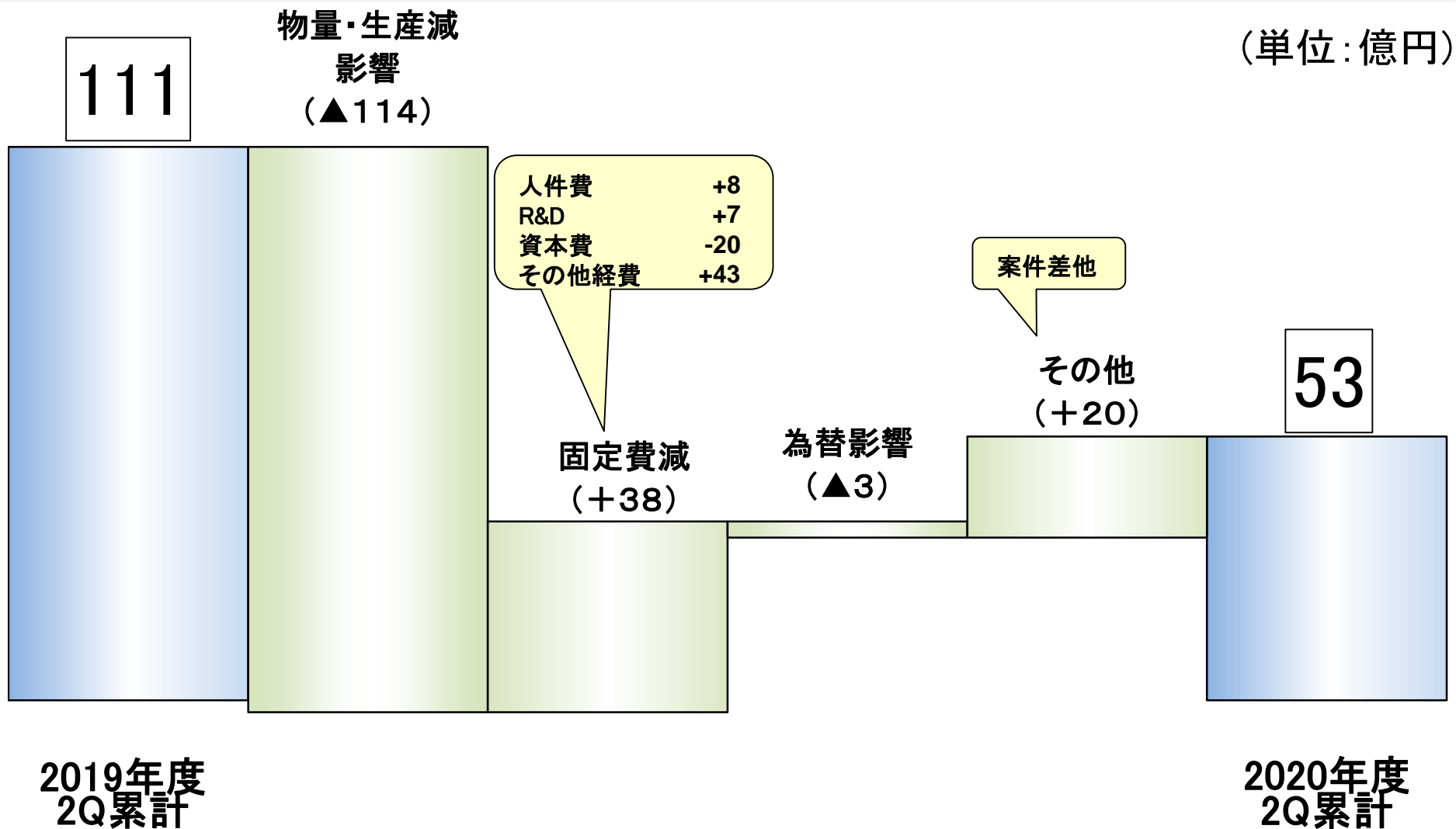
金融収支	-0	(10 → 10)
為替差損益	4	(-10 → -5)
その他	-3	(-3 → -6)
	1	(-3 → -1)

特別損益増減

投資有価証券売却益	0	(2 → 2)
投資有価証券評価損	4	(-4 → 0)
その他	3	(-5 → -2)
	8	(-7 → 0)

2020年度第2四半期累計 営業損益増減分析(対前年)

大幅な物量・生産減影響により減益



2020年度第2四半期累計 セグメント別売上高・営業損益(対前年)

売上高は電子デバイスを除くセグメントで大幅な減収
営業損益は食品流通の大幅な需要減による悪化を主因に減益

(単位:億円)

	2019年度 2Q累計		2020年度 2Q累計		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
パワーエレクトロニクス エネルギー	981	36	818	16	-163	-20
パワーエレクトロニクス インダストリー	1,387	-7	1,282	2	-105	9
電子デバイス	658	60	724	63	67	3
食品流通	547	29	377	-26	-170	-55
発電プラント	418	8	327	11	-92	3
その他	307	12	251	8	-57	-4
消去または全社	-232	-27	-208	-21	23	6
合計	4,067	111	3,570	53	-497	-58

※2019年度実績は、2020年度の事業組替を反映し、表示しています。

2020年度第2四半期累計 セグメント別業績概況(対前年) ①

(単位:億円)

			2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計	増減	概況
パワエレシステム	エネルギー	売上高	981	818	-163	<p>エネルギーマネジメント 21%減収 産業向け電源機器及びスマートメータの需要減少により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。</p> <p>施設・電源システム 19%減収 施設電機及び電機盤の前年同期大口案件影響により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。</p> <p>器具 10%減収 工作機械をはじめとする国内の機械セットメーカーならびに受配電盤メーカーの需要減少により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。</p>
		営業損益	36	16	-20	
	インダストリー	売上高	1,387	1,282	-105	<p>オートメーション 0%減収 船舶用排ガスシステムの需要が増加し、中国においては低圧インバータおよびFAコンポーネントの需要が増加したものの、国内その他分野で需要が低調に推移し、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。</p> <p>社会ソリューション 23%増収 鉄道車両用電機品の大口案件増加等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。</p>
		営業損益	-7	2	9	<p>設備工事 7%減収 設備投資計画の延期や前年同期の電気設備工事の大口案件影響等により、売上高は前年同期を下回りましたが、原価低減等の推進により、営業損益は前年同期を上回りました。</p> <p>ITソリューション 24%減収 前年同期の大口案件の影響により、売上高は前年同期を下回りましたが、案件差等により、営業損益は前年同期と同水準となりました。</p>

2020年度第2四半期累計 セグメント別業績概況(対前年) ②

(単位:億円)

		2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計	増減	概況																						
電子デバイス	売上高	658	724	67	<p>半導体 14%増収 電気自動車(xEV)向けおよび新エネルギー市場向けのパワー半導体の需要増加により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。</p> <p>ディスク媒体 6%減収 ニアライン向けは堅調に推移したものの、PC向け需要減により減収減益</p>																						
	営業損益	60	63	3																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>電子デバイス 売上高内訳</th> <th>2019年度 2Q累計</th> <th>2020年度 2Q累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>半導体</td> <td>545</td> <td>618</td> </tr> <tr> <td>ディスク媒体</td> <td>113</td> <td>106</td> </tr> </tbody> </table>			電子デバイス 売上高内訳	2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計	半導体	545	618	ディスク媒体	113	106	<table border="1"> <thead> <tr> <th>半導体 分野別売上高構成比</th> <th>2019年度 2Q累計</th> <th>2020年度 2Q累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業モジュール</td> <td>46%</td> <td>47%</td> </tr> <tr> <td>産業ディスクリット</td> <td>20%</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>自動車</td> <td>34%</td> <td>36%</td> </tr> </tbody> </table>		半導体 分野別売上高構成比	2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計	産業モジュール	46%	47%	産業ディスクリット	20%	17%	自動車	34%	36%
電子デバイス 売上高内訳	2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計																									
半導体	545	618																									
ディスク媒体	113	106																									
半導体 分野別売上高構成比	2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計																									
産業モジュール	46%	47%																									
産業ディスクリット	20%	17%																									
自動車	34%	36%																									
食品流通	売上高	547	377	-170	<p>自販機 28%減収 国内飲料メーカーの営業活動自粛及び設備投資の減少、ならびに中国の需要減少により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。</p> <p>店舗流通 34%減収 コンビニエンスストア向け店舗設備機器等の需要減少、及び改装工事の一部中止・延伸により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。</p>																						
	営業損益	29	-26	-55																							
発電プラント	売上高	418	327	-92	<p>前年同期の火力発電設備の大口径案件影響により売上高は前年同期を下回りましたが、営業損益は案件差等により、前年同期を上回りました。</p>																						
	営業損益	8	11	3																							

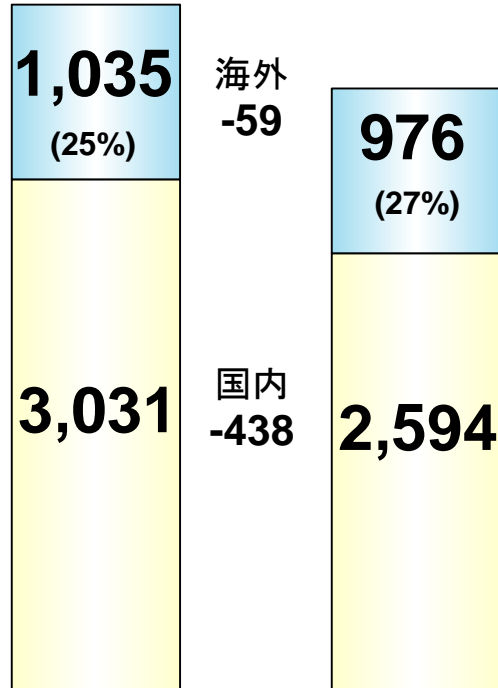
2020年度第2四半期累計 売上高〔国内/海外・地域別〕(対前年)

中国は市況回復により増収

(単位:億円)

()内は海外売上高比率

4,067 -497 3,570



2019年度
2Q累計

2020年度
2Q累計

(単位:億円)

	2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計	増減
海外	1,035	976	-59
アジア 他	558	459	-99
中国	327	381	55
欧州	88	77	-10
米州	63	59	-4

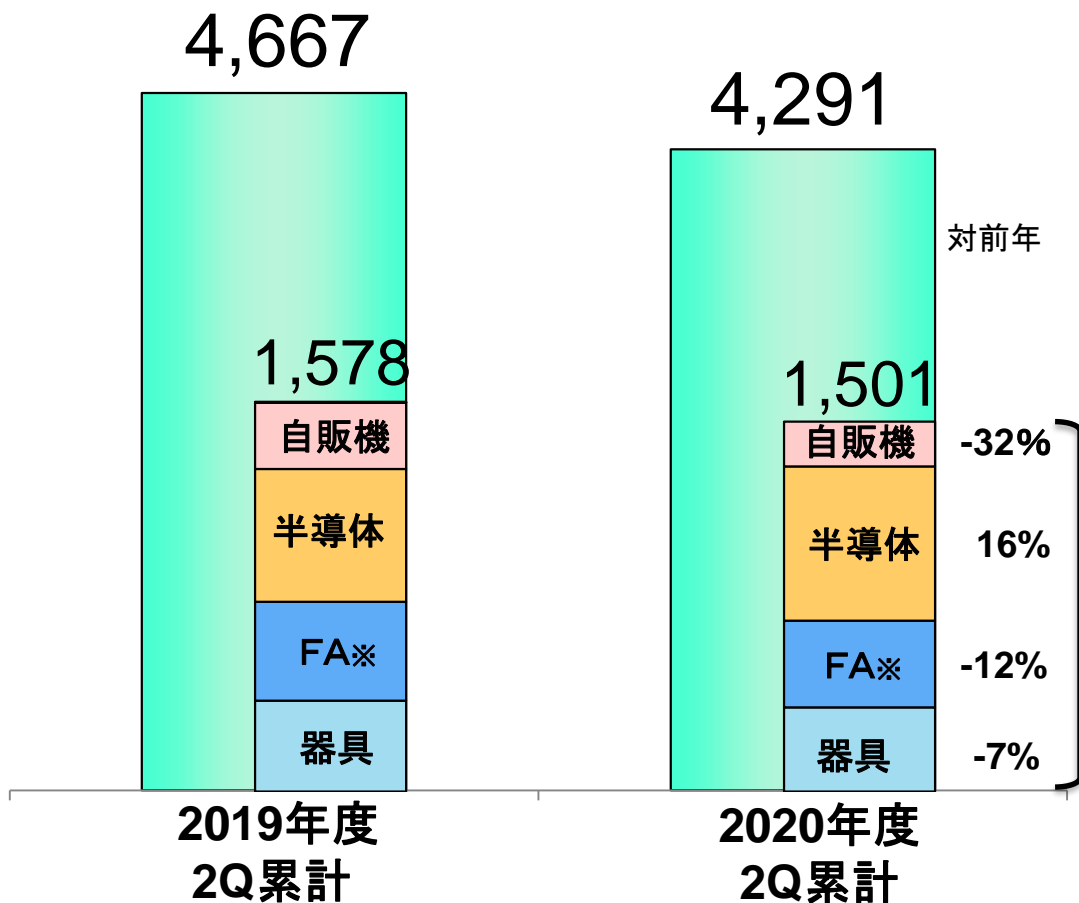
施設・電源システム -50
発電プラント -38
エネルギーマネジメント -31
オートメーション +27

半導体 +45
オートメーション +20
自販機 -13

2020年度第2四半期累計 製品群別受注高(対前年)

プラントシステムを中心に受注減少

(単位:億円)



受注高増減内訳(対前年)

主要コンポーネント	-77
プラントシステム他 (エネルギー・マネジメント、社会ソリューション、店舗流通)	-299
合計	-376

主要コンポーネント

※FA: 低圧インバータ、回転機、FAコンポーネント、計測機器

第2四半期末迄は、有事への対応により現預金増

(単位:億円)

資産の部	20/3/31	20/9/30	増減
現金及び預金	641	1,559	918
売上債権	2,945	2,262	-683
棚卸資産	1,881	2,085	204
その他	490	517	27
流動資産 計	5,957	6,423	466
有形固定資産	2,019	2,027	8
無形固定資産	246	229	-17
投資その他の資産	1,745	1,971	226
固定資産 計	4,010	4,227	217
繰延資産	1	1	-0
資産 合計	9,968	10,651	683

ネット有利子負債※1	1,536	1,833	296
ネットD/Eレシオ※2	0.4倍	0.5倍	0.1倍
自己資本比率	36.7%	36.3%	-0.4%

※1 ネット有利子負債：有利子負債-現金及び現金同等物

※2 ネットD/Eレシオ：ネット有利子負債 ÷ 自己資本

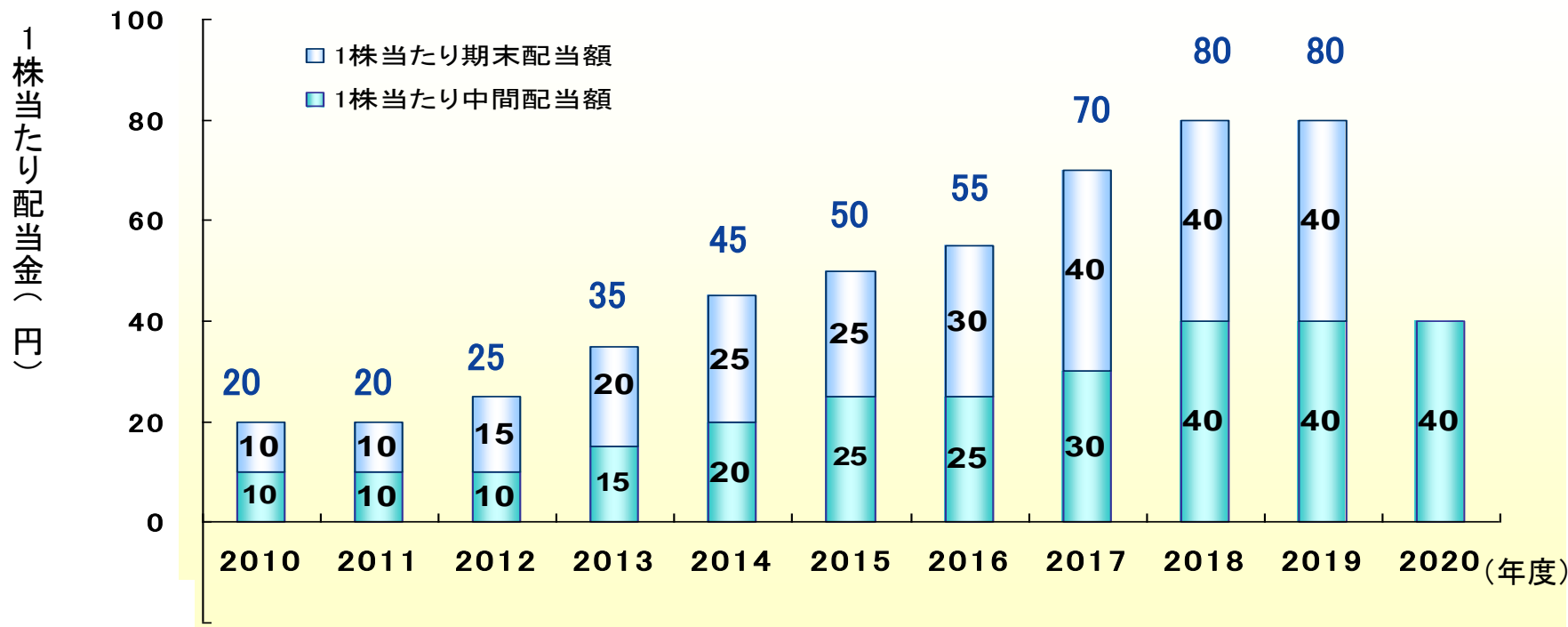
負債、純資産の部	20/3/31	20/9/30	増減
買入債務	1,799	1,339	-460
有利子負債	2,174	3,380	1,206
その他負債	1,935	1,656	-279
負債 合計	5,908	6,375	467
資本金	476	476	-
資本剰余金	459	460	1
利益剰余金	2,413	2,376	-37
自己株式	-73	-73	-0
株主資本	3,275	3,239	-36
その他の包括利益累計額	381	630	248
非支配株主持分	404	408	4
純資産 合計	4,060	4,276	216
負債・純資産 合計	9,968	10,651	683

(単位:億円)

	2019年度 2Q累計	2020年度 2Q累計
I 営業活動によるキャッシュフロー	13	-21
II 投資活動によるキャッシュフロー	-238	-108
I + II フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	-226	-130
III 財務活動によるキャッシュフロー	168	1,043
IV 現金及び現金同等物の期末残高	227	1,547

剰余金の配当

中間配当は、1株当たり40円に決定



配当性向	18.9%	24.2%	13.6%	25.5%	23.0%	23.3%	19.2%	26.5%	28.4%	39.7%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※2010年度から2018年度上期まで(株式併合前)は5株当たり配当額

1. 本資料は法律に基づく監査手続の対象外であり、本説明会の時点において、法律に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。
2. 本資料及び本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
3. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
4. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。

■低圧インバータ受注高

	2Q対1Q	2Q対前年	上期対前年
全体	6%	-16%	-18%
国内	9%	-21%	-29%
海外	4%	-12%	-8%

■半導体受注高

	2Q対1Q	2Q対前年	上期対前年
全体	11%	24%	16%
自動車	26%	36%	23%
産業ディスクリート	7%	0%	-6%
産業モジュール	2%	25%	21%

■自販機受注高

	2Q対1Q	2Q対前年	上期対前年
全体	12%	-31%	-32%
国内	15%	-30%	-31%
海外	-7%	-35%	-37%
中国	-33%	-49%	-48%
東南アジア他	81%	-2%	8%